

11/3
～10

白河まちなか 国際音楽ウィーク

●コミネス大ホール ほか

期間中、市内のさまざまな会場で、コンサートやパフォーマンスなどのイベントが催されました。藤屋蔵（二番町）では、来年2月に本公演が上演されるオペラ『椿姫』のハイライトが披露され、旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷（本町）では、三味線と箏が演奏されました。観客は、普段とは違った雰囲気のマちなかで、上質な音楽を楽しみました。



11/17

第31回ふくしま駅伝

●白河市～福島市

しらかわカタルスポーツパーク陸上競技場をスタートし、福島県庁前までの16区間・94.8kmを県内の市町村53チームが襷でつなぎました。

本番に備えて練習を重ねてきた白河市チームは、5時間21分52秒のタイムで、総合第11位（市の部第8位）の成績を収めました。



▲スタートする選手 ▲ゴール後の白河市チーム

10/26

空き店舗見学ツアー

●市内中心市街地

中心市街地への出店を検討している方を対象にした同ツアーが開催され、9人が参加しました。空き店舗や、改修を行って営業している店舗などを見学し、先輩創業者との意見交換も行いました。



◀空き店舗バンク登録情報はこちら！



10/27

まるごと白河2019

●駅前イベント広場 ほか

企業&技能フェスティバルでは、シリコン細工や勾玉作りなど、さまざまな体験コーナーが設けられました。また、世界一に輝いた山田剛嗣シェフの Pasta や、そば・ラーメンなどのグルメが軒を連ね、豪華賞品が当たるビンゴ大会も開催されて、会場は家族連れでにぎわいました。



▲人気の白河ラーメン

▲銅板打ち出し体験

11/10

第25回中山義秀文学賞公開選考会

●市立図書館りぶらん

選考委員である作家の高橋義夫氏・中村彰彦氏・朝井まかて氏、文芸評論家の清原康正氏が、平成30年度に刊行され、日本の歴史を題材とした文学作品の中から最終候補に残った3作品を講評しました。選考の結果、幕末の探検家の生涯を描いた『がいなもん 松浦武四郎一代』（著者 河治和香さん）が受賞作品に決定しました。



11/17

「南湖」講演会

●市立図書館りぶらん

國學院大學名誉教授の高塩博氏は、南湖が史跡・名勝に指定された経緯や、渋沢栄一・三上参次の功績を講演しました。また、筑波大学教授の黒田乃生氏は、各地の史跡などと比較して、デザインの観点から南湖の景観づくりを提案しました。

両氏は「南湖」を知り、後世に伝えていくことが、南湖を守ることに繋がると力説しました。



10/29

心の健康づくり講演会

●中央保健センター（北中川原）

「自分のためのストレス対処術」というテーマで、東北福祉大学教授の渡部純夫氏が講演しました。自分の性格を理解して、自らの役割を果たしていると実感することや、他者と共感するために努力して、つながりが持てると気持ちは安定することなど、自殺を防いで心の健康を保つために必要なメンタルヘルスのポイントを説明しました。



11/2

市立図書館一般講演会

●市立図書館りぶらん

「時代小説にこめる思い」というテーマで、人情時代小説の名手として知られる作家の藤原緋沙子氏が講演しました。数多くのシリーズを執筆し続けている中で、大切にしていることや、それぞれのシリーズ・長編に登場する人物やストーリー、情景などに込めた思いなどを、自身の人生と重ね合わせながら、涙と笑いを交えて語りました。

